

商工観光部の方針書

部名	商工観光部
部長名	佐々木公仁

1. 部の使命(ありたい姿)

地域経済が活性化しているとともに、おもてなしの心が地域に根差している	
担当政策	政策4: 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
担当施策	4-2: 活気ある商業の振興 4-3: 活力ある工業の振興 4-4: 観光・物産資源の発掘と発信 4-5: 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> ・労働生産性の向上と付加価値の増大 ・多様な働く場創出と人材確保 ・横手の魅力発信と観光振興 ・地域経済・国内市場縮小への対応 ・直営温泉施設のサービス内容見直し

3. 今年度の『スローガン』

<p>つなごう！ ひと・ちいき・しごと (GO)</p>

4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者の成長・育成支援。 ・起業創業への支援と企業誘致。 ・観光・物産資源の情報発信と、観光関連団体と連携した誘客・受入れ事業の推進。 ・市内事業者に対する国内外への販路拡大支援。 ・直営温泉施設の効率的な運営。

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	企業振興施策展開による雇用創出と維持
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内製造業の更なる成長と地域商業活性化に支援するとともに、労働力確保のため事業所の魅力を発信し雇用のマッチングを促進します。 ・起業創業の支援体制強化と、秋田県と連携した関西東海圏企業への誘致活動を強化します。
(2)	実現したい成果	横手の魅力発信と観光産業育成による地域経済の活性化推進
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光関連団体や民間企業と連携した情報発信と受け入れ環境の充実に努め、海外観光客の誘客を推進し、観光消費増加に向けた取り組みを強化します。 ・観光資源をつなぐ魅力ある旅行商品を造成・提案するとともに、観光エキスパート事業推進と横手市観光推進機構事業との連携を図り、観光の稼ぐ力創出に努めます。 ・より効果的な横手の魅力発信方法を追求しながら、市内事業者に対する国内外への販路拡大支援と横手ファンづくりを推進します。
(3)	実現したい成果	
	取組内容	

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1)企業振興施策展開による雇用創出と維持
 - ・市内製造業の更なる成長のため、振興条例に基づく指定実施。
 - ・地域商業活性化支援のため、空き店舗等利活用や商い賑わい補助金等を実施。
 - ・雇用のマッチングを促進し労働力確保のため、就職面接会を実施したほか、市内企業を対象にインターンシップセミナーや、中学生に向けた「未来を拓くキャリア教育!!～中学生向け企業説明会」を実施。
 - ・起業創業の支援体制強化のため、ワンストップ相談窓口を継続して開設。
 - ・関西東海圏企業へ秋田県と連携した誘致活動を実施。その結果、愛知県の企業1社と立地協定を締結。
- (2)横手の魅力発信と観光産業育成による地域経済の活性化推進
 - ・観光情報発信と受け入れ環境の充実のため、市内でのイベント開催時にあわせ増田エリアと観光資源をつなぐPRを実施。
 - ・海外観光客の誘客を推進のため、国際的産学官連携事業を実施。
 - ・魅力ある旅行商品を造成・提案するため、大同大学生、教授と県内大学の学生を交えたワークショップを実施。
 - ・観光エキスポパート事業推進するため、ホスピタリティ研修を実施。
 - ・市内事業者に対する国内外への販路拡大支援のため、バイヤーを招へいた産地見学会や、首都圏小売り店舗でのフェアを実施。
 - ・横手ファンづくりを推進、また横手の魅力発信のため横手fun通信を継続発行した。
加えて横手ファンとの新たな関係構築のため都内で交流型物産展「リトルよこて」を開催。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1)企業振興施策展開による雇用創出と維持
 - (1-1)課題:投資件数(生産性向上に向けた取り組み)の増加。
 - (1-1)方針:企業の投資意欲を高めるため、支援制度も含めた情報提供、発信活動に注力する。
 - (1-2)課題:起業・創業数および新たな企業誘致。
 - (1-2)方針:起業した事業者、立地した企業へのサポートを行うことで次につなげる。
 - (1-3)課題:高校新卒者地元就職率の増
 - (1-3)方針:ハローワークなど関係機関と連携し、市内高校等へ地元企業情報提供等の働きかけを強化する。
- (2)横手の魅力発信と観光産業育成による地域経済の活性化推進
 - (2-1)課題:横手への誘客数増、観光消費増加
 - (2-1)方針:国際的産学官連携事業での実績をベースに、インバウンドでの誘客増を目指す。
 - (2-2)課題:特色ある商品や意欲のある事業者の掘り起こし
 - (2-2)方針:横手商品の情報収集に努め、バイヤーへの提案の機会増を図る。
- (3)上記以外
 - ・商工業振興計画の検証と確実な実施。
 - ・直営温泉施設の方向性を示す。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1)企業振興施策展開による雇用創出と維持
(結果・成果)
 - ・企業を対象としたインターンシップセミナー実施が受け入れ側の意識改革につながったほか、金融機関や商業団体と連携した支援により起業・創業者増が図られた。
 - ・県との連携した誘致活動が関西東海圏からの新規企業立地1社につながり雇用の場が広がった。
(課題)
 - ・労働生産性向上と付加価値増大
 - ・多様な働く場創出と人材確保
- (2)横手の魅力発信と観光産業育成による地域経済の活性化推進
(結果・成果)
 - ・既存観光資源のPR活動に加え、リニューアルした増田まんが美術館と連携した観光PRに力をいれたことや、国際的産学官連携モデル事業で培った友好関係を基軸とした活動により誘客が進んだ。
 - ・国内外ともに、市内事業者と市、バイヤーが双方向の商品・企画提案がなされる関係強化につながった。また物産展よこてfunストア「リトルよこて」により、横手ファンとの新たな関係性が構築された。
(課題)
 - ・横手の魅力発信と観光振興
- (3)上記以外
(課題)
 - ・コロナショックでの地域経済停滞への対応
 - ・直営温泉施設の運営